

大雨による防災情報（第2報）

湯沢河川国道事務所  
災害対策支部【警戒体制（砂防）】

湯沢河川国道事務所では、低気圧に伴う降雨の影響により、八幡平山系秋田県側（仙北市田沢湖生保内地内）の雨量観測所で連続雨量が120mmを超過し、土砂災害による被害が発生する恐れがあることから、6月14日16時10分に災害対策支部を「注意体制（砂防）」から「警戒体制（砂防）」に移行しました。  
 今後は、降雨の状況を確認の上、管内砂防施設の巡視点検を実施する予定です。

◆砂防降雨状況（6月14日16時00分現在）

山系	雨量観測所 (仙北市)	連続雨量	時間雨量
			15:00~16:00
八幡平山系 (秋田県側)	黒湯	3mm	125mm
	熊ノ台	1mm	64mm
	生保内	0mm	24mm
	小先達	0mm	31mm

◆災害支部体制

	注意体制	警戒体制	注意体制	警戒体制
砂防	—	8月9日 9時00分	12月4日	6月14日 16時10分

※アンダーライン箇所が前回からの更新箇所

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2

TEL 0183-73-5544（直通）

調査第一課長（河川・砂防） 林 将宏（内線351）